

## 認知症作業療法 活動計画（概要）

- ・佐賀県作業療法士会では、OT協会（制度対策部認知症班）の重点活動項目に沿った取り組みを継続・発展させる為に、地域包括ケア推進部の中に認知症支援委員会を設置し、16名の委員で連携を図りながら取り組みを進めている。認知症に関連した研修や派遣事業を通して会員の資質を向上させ、佐賀県での認知症に対する支援が出来る事を目指している。
- ・佐賀県作業療法士会では県・市町村からの依頼を受け、認知症初期集中支援事業、認知症予防事業、認知症カフェ事業に県士会員を派遣している。
- ・その他、佐賀県5地区に当委員会を担当者を設置し、各地区における認知症関連事業と派遣実績の現状把握、及び認知症関連の依頼に応じた講師及び協力派遣を行っている。

## 世界アルツハイマー・デーでのイベントの企画

- ・認知症の人と家族の会 佐賀県支部と佐賀県が協力して2018年から毎年、認知症啓発イベントが開催されており、県士会員も協力。認知症支援のシンボルカラーであるオレンジにライトアップされる。今年度は数カ所の施設をライトアップする方向で調整中。
- ・新たに江北町からアルツハイマー・デイに合わせたイベントの協力依頼があったが、**COVID-19**の影響で対面での開催は中止となった（ライトアップは実施）。



佐賀大学美術館 ライトアップ

## 認知症の人と家族の会との連携事業

- ・認知症の人と家族の会 佐賀県支部が主催する認知症カフェが佐賀市、伊万里市、鳥栖市で毎月開催されており、それぞれに県士会員2名を派遣。
- ・2020年度、認知症の人と家族の会が主催する「つどい」において自宅で出来る運動と脳トレをテーマに講師依頼があり県士会員2名を派遣。今年度は、江北町で開催される「家族のつどい」に県士会員2名を派遣予定。



「つどい」でコロナ禍でも自宅で出来る運動や脳トレをテーマに講師

## COVID-19（新型コロナウイルス）の影響・対応など

- ・県士会でZoom契約を行い、Web会議の実施、各研修会もリモートで開催しながら各事業を進めている。
- ・今年度、県士会組織に特設でICT委員会を設置し、研修案内、振込方法、リモート研修システムの充実を目指して検討中。
- ・認知症カフェでは、人数制限や時間短縮など感染予防を徹底し開催している地域へ派遣協力を行っている。
- ・今年度は、コロナ禍で臨床実習等への影響を考慮し、早めに新会員の方々が学びの場に参加できるように計画した。



認知症カフェの様子

## 佐賀県・市町からの委託事業及び認知症研修

- ・佐賀県健康福祉部からの委託事業「認知症ケアに携わる者のリハビリテーション研修会」では、2016年から毎年計10回の研修会を行い、2020年度は延べ452名の受講者であった。今年度は、地域向け、行政向けの内容を盛り込んだ形で企画を進めている。
- ・認知症初期集中支援事業に佐賀・唐津・伊万里市よりチーム員推薦依頼があり5名を推薦。
- ・鹿島市、江北町より認知症カフェ年6回開催の委託があり毎回5～7名を派遣。小城市からは認知症カフェ（年12回）、若年性・軽度認知症サロンへの参加者の評価（年4回）の委託があり毎回2～5名を派遣している。
- ・認知症OTアップデート研修を実施し、受講者は19名（2021）。今後は修了書を発行した県士会員を対象に、認知症OTエキスパート研修を計画していく予定。